

- 第 1 部 -

# 水 産 業 の 動 向

平成 1 9 年 9 月  
宮 城 県



- 目 次 -

第 1 部 水産業の動向

<b>1 水産業を巡る概況</b>	1
( 1 ) 水産基本計画の策定	2
( 2 ) 水産物輸出の増加	2
( 3 ) 世界における日本の水産物買い負け現象	3
( 4 ) 日本人の「魚ばなれ」の進行	3
( 5 ) 宮城の将来ビジョンの策定	4
( 6 ) 宮城県食育推進プランの策定	5
( 7 ) 宮城県産水産物のブランド化の推進	6
( 8 ) ノロウイルスによるカキの風評被害	6
( 9 ) 新たな疾病の侵入「マボヤの被囊軟化症」	6
( 10 ) 一県一漁協の発足・取組の推進	7
( 11 ) 仙台湾の環境調査・健康診断	7
( 12 ) 低気圧被害の発生	8
- コラム -	
水産物の輸出入	9
我が国の水産物食料需給の動向	10
特定第 3 種漁港都市商工会議所連絡協議会の発足	11
宮城の将来ビジョンの策定について	12
平成 18 年 10 月 6 日～ 7 日低気圧による被害について	13
<b>2 水産業の現状</b>	15
( 1 ) 本県水産業の特徴	16
イ 漁業・養殖業	16
(イ) 水揚げされる魚種の多様性	18
(ロ) 主な水産物の全国順位	19
ロ 水産加工業	20
(イ) 主な水産加工品と全国順位	20
- コラム -	
資源管理型漁業の取組について	21
仙台湾でマコガレイ産卵場を確認	22
宮城県ブランド『アカガイ』の資源回復を目指して!	23
( 2 ) 漁業の概況	24
イ 本県漁業の基本構造	24
(イ) 漁業経営体数	24

(ロ) 漁業就業者数	24
(ハ) 漁船隻数	25
□ 漁業・養殖業生産	27
(イ) 海面漁業・海面養殖業の生産量	27
(ロ) 海面漁業・海面養殖業の生産額	28
(ハ) 主な漁業種類の生産動向	29
a. 遠洋漁業	29
b. 沖合漁業	31
c. 沿岸漁業	33
d. 海面養殖業	35
(ニ) 主要魚種別生産	37
(ホ) 内水面漁業	39
- コラム -	
<b>新規就業者の動向について</b>	40
<b>宮城県沿岸における大型クラゲ出現状況把握調査</b>	41
<b>第49回内水面漁業振興大会の開催</b>	42
(3) 水産物の流通・加工の概況	43
イ 水産加工生産	43
ロ 産地魚市場の水揚げ状況	45
- コラム -	
<b>MKプロジェクト始動～第1弾は「みやぎの牡蠣」～</b>	47
<b>産地魚市場を中心とした水産物流通拠点の整備</b>	48
(4) 漁業経営の概況	49
イ 漁業経営体の経営収支	49
(イ) 遠洋・沖合漁業	49
(ロ) 沿岸漁業・海面養殖業	50
(ハ) 漁業共済制度	50
(ニ) 漁船保険制度	52
ロ 水産業協同組合の現況	53
(イ) 水産業協同組合の運営状況	55
- コラム -	
<b>近海まぐろ延縄漁業実験船「海青丸」と近海まぐろ延縄漁業の現状について</b>	57
<b>燃油価格高騰の影響(燃油価格の高止まり)</b>	58

( 5 ) 漁業生産基盤の整備	5 9
イ 漁港漁場等の整備	5 9
(イ) 漁港の整備	5 9
(ロ) 漁場の整備	5 9
ロ 漁業生産施設等の整備	6 0